

西知多道路の整備促進に関する要望書



平成30年1月

西知多道路推進協議会

西知多道路の整備促進について

平素は西知多道路の整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

西知多道路は、東海市の新東名高速道路（伊勢湾岸自動車道）東海 JCT から知多市を經由して、常滑市の知多横断道路常滑 JCT（仮称）に至る延長約 18.5km の自動車専用道路であります。

本道路が計画されている知多地区は、2026 年の開催が決定したアジア競技大会のゲートウェイとなり、愛知県国際展示場、LCC 向け新ターミナル、ボーイング 787 試験機を核とした新たな商業施設「FLIGHT OF DREAMS」の建設など、目覚ましい周辺開発も進む中部国際空港や、取扱貨物量、外国貿易の黒字額が日本一の国際拠点港湾である名古屋港を擁するなど、世界につながる玄関口としての役割を果たす大変重要な地区であります。

グローバル化の進展に伴い、国際競争が激しくなる中、この知多地区を含む中京大都市圏が、日本経済の持続的な成長に寄与するため、我が国の「経済の好循環」のエンジンとなり、国内外からヒト・モノ・カネ・ビジネスを惹きつけ、グローバルな都市間競争を勝ち抜かなければなりません。そのためには、中部国際空港の二本目滑走路整備を始めとした機能強化を目指すとともに、2027年度開業予定のリニア中央新幹線のインパクトを生かし、名古屋駅と中部国際空港の連携を強化することが必要不可欠であります。

西知多道路は、国際拠点空港の中部国際空港と高速自動車国道の新東名高速道路（伊勢湾岸自動車道）を直結するだけでなく、名古屋高速道路を經由し、リニア中央新幹線名古屋駅を結ぶとともに、知多地域の広域幹線道路である知多半島道路と一体となって中部国際空港と名古屋駅間のダブルネットワークを形成し、定時性の確保、利便性の向上に大きく貢献することから、2027年度リニア開業までに是非完成させていただきたいと考えております。

西知多道路の整備により、新たに構築される道路ネットワークは、広域的なストック効果を最大限に高め、生産性革命を引き起こす物

流・交流軸となり、日本経済を牽引する本県の発展に大きく寄与することが期待されます。加えて、国土強靱化の観点からも、南海トラフ巨大地震等の災害時には、緊急輸送道路としての機能を担うなど、大変重要な役割を果たします。

西知多道路の効果を最大限発揮させるためには、一刻も早い全線整備が必要不可欠でありますので、全線の早期開通が図られることを強く期待しています。

ところで、直轄国道の地方への権限移譲の議論が進む中ではありますが、平成25年12月に閣議決定された「事務・権限の移譲等に関する見直し方針について」においては、地方管理道路・河川の直轄編入を含め、必要な見直しを行うこととされており、国際拠点空港と高速自動車国道を直結する本道路は、国と地方の役割分担のもと、国が責任を持つべき道路として、国により整備・管理すべきと考えております。

つきましては、次の事項について、特別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 有料道路事業に財政投融资を活用することを踏まえ、それにより生じた直轄道路事業費の投資余力を新規事業に充当し、未事業化区間の早期事業化を図ること。
- 2 国の事業区間である東海JCT部の早期着工を図ること。
- 3 愛知県事業区間（青海IC～常滑JCT）の整備が計画的に進められるよう、予算措置を講じること。

平成30年1月22日

西知多道路推進協議会

会長 愛知県知事

大村 秀章

副会長 名古屋商工会議所会頭

山本 亜土

副会長 （一社）中部経済連合会会長

豊田 鐵郎



国道 247 号の渋滞状況（東海市）



愛知県国際展示場の建設（空港島）



開発が進む空港対岸部（常滑市）



知多半島道路の交通事故状況



<西知多道路推進協議会>

構成団体

- 愛知県
- 名古屋市
- 東海市
- 知多市
- 常滑市
- 名古屋港管理組合
- 名古屋商工会議所
- 一般社団法人中部経済連合会
- 中部国際空港株式会社